

皆さまへ

昭和20年8月15日の終戦から77年、時代は昭和から平成、令和へと移りました。この間、戦争の時代を身をもって体験した世代の高齢化が進む一方で、今や戦後生まれが人口の8割を占めるに至り、戦争の記憶の風化がいつそう懸念されています。

しかし、ロシアによるウクライナ侵攻で多くの人々が犠牲になっている惨状は、戦争が決して過去のものではないことを私たちに示しています。

このような時期、私たちは改めて戦争の悲惨さに目を向け、その記憶を伝えていかなければなりません。そして、故郷へ、職場へ、学校へ、何より家族の元へ生きて帰り、新しい未来を築くはずだった戦没者皆さまのお気持ちと、ご遺族のご労苦に思いを馳せたいと思います。

令和4年度の酒田市戦没者追悼式典は、新型コロナウイルス感染拡大の観点から、やむなく中止といたしました。大変残念なことです。戦没者皆さまの御霊安らかにとお祈り申し上げ、ご報告といたします。

令和4年7月20日

酒田市社会福祉協議会・酒田市遺族会・八幡遺族会・松山遺族会・平田遺族会

※ 写真は、酒田市の戦争犠牲者の霊をなぐさめ平和を祈るために日和山に建立された“やすらぎの塔”

